

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援ご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。当社の第106期事業概況をご報告するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当期の売上高は、前期の増収要因であった「NM26」および「STAT6阻害剤」の導出に係る契約一時金収入の反動や、「クレナフィン」のオーソライズド・ジェネリックへの置き換えが進んだこと等により減収となりました。利益につきましては、主に遺伝性血管性浮腫の急性発作治療薬「セベトラルスタット」および長期予防薬「ナベニバルト」に関する契約一時金支払いによる研究開発費の増加もあり、減益となりました。

「長期経営計画2031」は4年目が経過し、研究開発の進捗といたしましては、パイプライン拡充を目的に「セベトラルスタット」「gMSC1」「ナベニバルト」の3品目を新たに導入し、そのうち「セベトラルスタット」は「エクテリー」という製品名で、2026年3月に販売を開始いたしました。また、フェーズ3試験段階にあるパイプラインにおいてもポジティブな試験結果を取得し、製品化に向けた次の段階へ順調に進展しております。さらに海外展開においては、パートナー企業を通じて「クレナフィン」がドイツで、「エクロック」が韓国で上市されるなど、「長期経営計画2031」で掲げるVISIONの実現に向けた戦略が、着実に成果を上げてきていると手応えを感じております。

本年度に入り2つの開発品について製造販売承認申請を行いました。これまで継続的に推進してまいりましたパイプライン拡充の成果により、今後は順次、上市フェーズへ移行してまいります。今後は「開発から販売へ」という新たなステージを見据え、中長期的な成長の土台を確かなものとするべく、体制の整備や強化に全力で取り組んでまいります。

本年度は、マイルストーン達成に伴う一時金受領等により、増収増益を見込んでおります。また、年間配当につきましては、190円を予定しております。

引き続き、株主の皆様をはじめ、すべてのステークホルダーの信頼と期待に応えるべく全社一丸となって取り組んでまいります。今後ともご支援賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

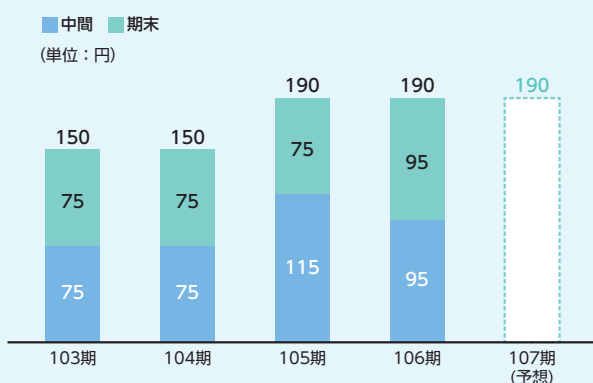


2026年6月

代表取締役社長

坂内 裕之

株主還元方針

配当金の推移


配当について

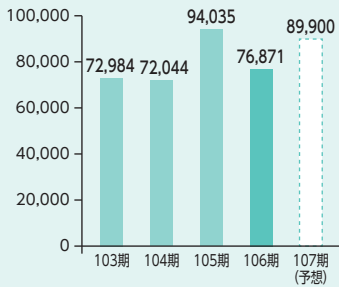
株主の皆様に対する継続的な利益還元を重要な経営目標と位置づけており、105期の配当金額190円を下限としつつ、継続的・安定的な配当を実施してまいります。

また、従来よりお示ししている株主還元方針に基づき、配当性向30%以上、総還元性向50%以上を意識して利益成長とともに株主還元の充実を図ってまいります。

財務ハイライト

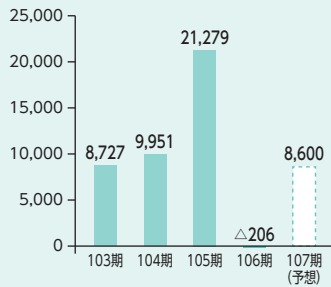
売上高 **76,871**百万円
(前年同期比 $\Delta 18.3\%$)

(単位：百万円)



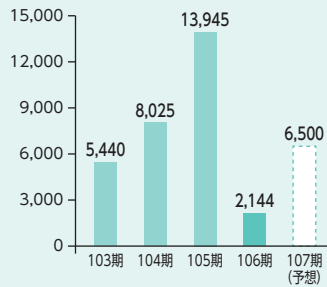
経常利益 Δ **206**百万円
(前年同期比 $-$)

(単位：百万円)



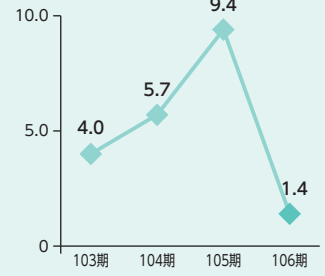
親会社株主に帰属する当期純利益 **2,144**百万円
(前年同期比 $\Delta 84.6\%$)

(単位：百万円)



ROE (自己資本利益率) **1.4%**

(単位：%)



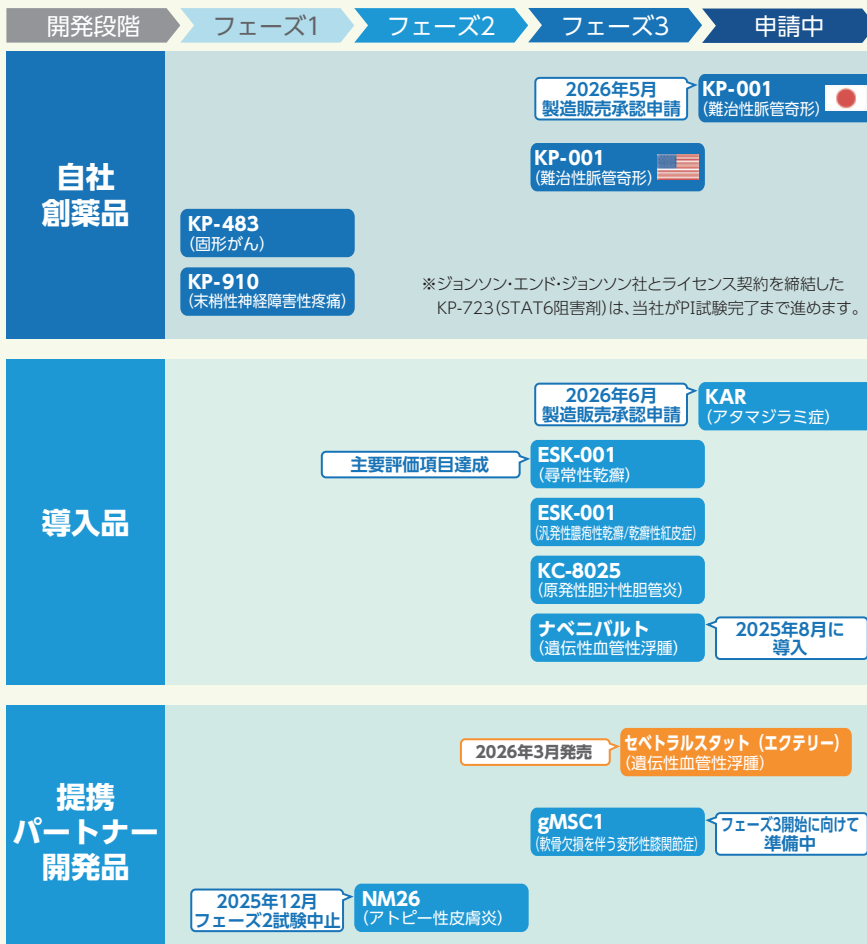
第107期 (2027年3月期) 業績の見通し

第107期の業績につきましては、マイルストーン達成に伴う一時金受領等により増収増益を見込んでおります。売上高は89,900百万円、営業利益は7,900百万円、経常利益は8,600百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は6,500百万円を見込んでおります。

パイプライン進捗 (2026年6月5日時点)

当社は、パイプライン拡充のため、自社創薬と並行して、共同研究・共同開発、開発品や製品の導入、M&Aにも積極的に取り組んでおります。

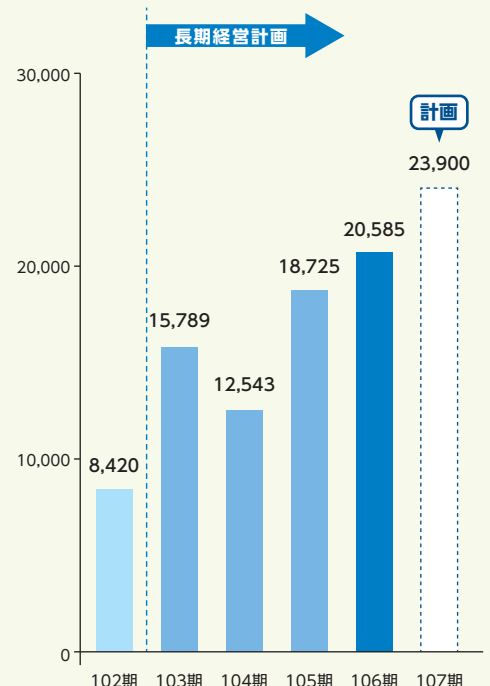
難治性脈管奇形を予定適応症とする「KP-001」は2026年5月に、アタマジラミ症を予定適応症とする「KAR」は2026年6月にそれぞれ製造販売承認申請を行いました。また、「KP-001」は米国にてフェーズ3試験を開始しました。TYK2阻害剤「ESK-001」は、尋常性乾癬を対象とする日本を含む国際共同フェーズ3試験（アルミス社が実施）の結果、主要評価項目を達成し、国内では汎発型膿疱性乾癬/乾癬性紅皮症を対象としたフェーズ3試験を開始しました。ジョンソン・エンド・ジョンソン社に導出したSTAT6阻害剤「KP-723」は、当社でフェーズ1試験の終了までを担当いたします。なお、先天性副腎過形成症治療剤チルダセルフォントは、開発を中止しました。



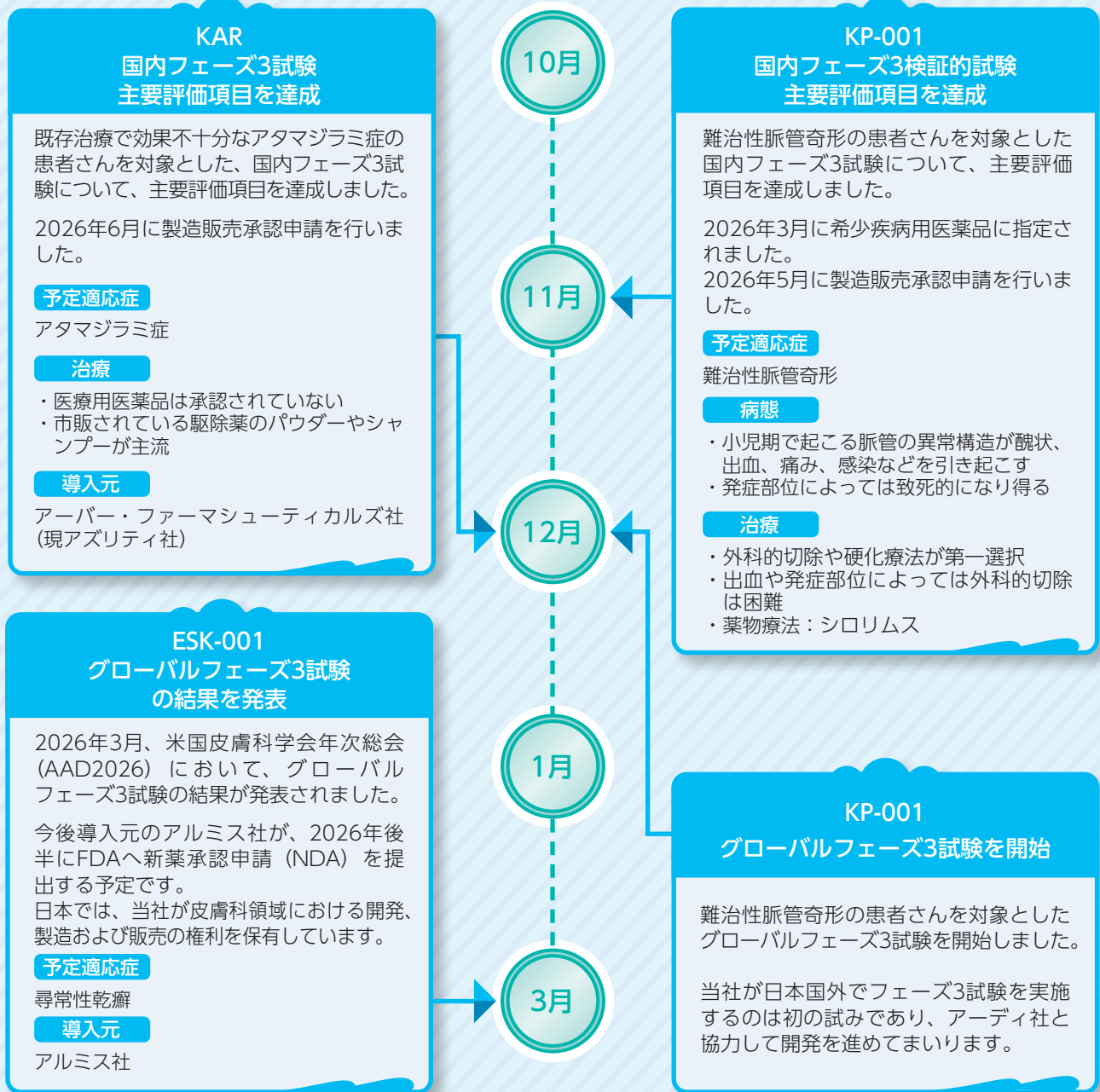
長期経営計画2031 スタートからの推移

研究開発費

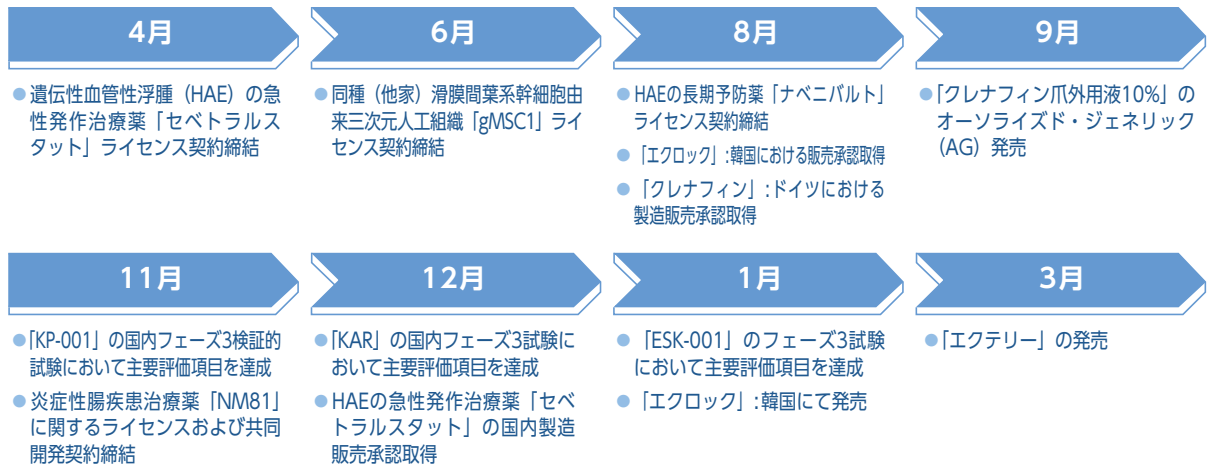
(単位：百万円)



2025年度下期のFocus



2025年度のイベント



◆患者さん・一般の皆さま向けウェブサイト「KAKEN Health Note」 開設のお知らせ

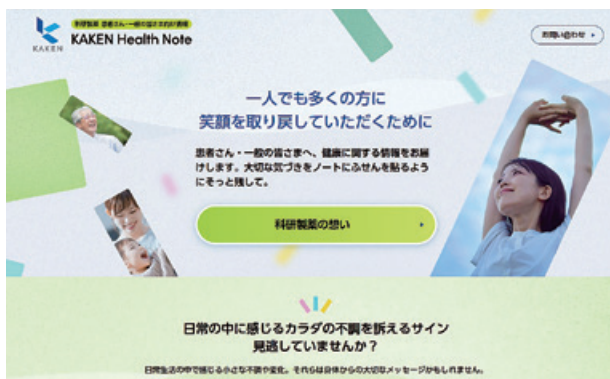
2026年2月に患者さん向け情報サイト「KAKEN Health Note」を開設しました。

本サイトでは、日常の中で感じる体の不調のサインを見逃さないよう、大切な気づきをノートにふせんを貼るように、健康に関する情報をお届けしてまいります。

- ・見た目と清潔感が気になる「不快な悩み」
- ・日常生活に支障が出る「体の違和感」
- ・気づかないうちに進む「静かな病」

また、スマートフォンなどのさまざまなデバイスでも見やすいデザインとしていますので、ぜひご覧ください。

<https://health-note.kaken.co.jp>



◆遺伝性血管性浮腫（HAE）急性発作治療用 血漿カリクレイン阻害薬「エクテリー®錠300mg」を発売

2025年4月に、カルビスタ社と本剤の日本での販売に関する提携およびライセンス契約を締結しました。その後、カルビスタ社による製造販売承認の取得を経て、2026年3月に発売に至りました。これにより契約締結から上市までを2025年度内に達成することができました。

本剤は、2022年5月に公表した「長期経営計画2031」に基づき推進してきたパイプライン拡充の成果として、初めて上市に至った製品です。中長期的な成長を見据えた研究開発の取り組みが、事業成果として結実したものと考えています。

これまで、HAEの急性発作に対する治療は注射剤に限られており、患者さんにとって身体的・心理的な負担が課題となっていました。経口剤である本剤の提供により、注射による負担を軽減し、アンメットメディカルニーズを満たす新たな治療選択肢となることを期待しています。

HAEに関する詳細は、下記よりご覧ください。

<https://health-note.kaken.co.jp/general/hae>

2025年度のイベント時系列



4月 | ライセンス契約



12月 | 製造販売承認取得



2026
3月 | 発売開始

HAE 遺伝性血管性浮腫の情報サイト
とわたしらしく



◆3社合同プロジェクト「汗で病院あたりまえに委員会」発足について

汗に関する悩みを社会全体で理解し共に向き合うことを目指して、科研製薬、久光製薬、マルホの3社は、日本臨床皮膚科医会およびNPO法人多汗症サポートグループと連携して「汗で病院あたりまえに委員会」を発足しました。近年、気候変動や生活環境の変化により、汗の悩みは誰にでも起こり得る身近な問題となっています。一方で、「体質だから仕方がない」「我慢すべきもの」といった思い込みや、恥ずかしさから相談できず、個人で抱え込んでしまうケースも少なくありません。本プロジェクトでは、こうした“汗の悩みを個人が抱え込んでいる現状”に向き合い、汗の悩みを社会全体で共有し、理解しやすい環境づくりを目指してまいります。

活動の第一歩として、2026年4月22日に発足を開き、汗の悩みに関する大規模調査「発汗白書」を紹介するとともに、“汗の悩みの実態”について専門家や当事者の方々と意見交換を行いました。

プロジェクトの詳細につきましては下記よりご覧ください。

<https://ase-atarimae.jp/>



汗で病院 あたりまえに委員会

KAKEN

Hisamitsu

maruho

【株主総会決議ご通知】

従来書面にて株主の皆様にお送りしておりました定時株主総会の決議ご通知につきましては、書面によるご送付に代えて、当社ホームページに掲載することといたしました。

第106回定時株主総会「決議ご通知」

https://www.kaken.co.jp/invest/stock/shareholders_meeting.html



役員の状況

取締役・監査役 (第106回定時株主総会終結後の新体制)

代表取締役社長 堀内 裕之
常務取締役 鈴木 雅
取締役 綿貫 充
取締役 梅田 泰弘
取締役 奥山 明美
社外取締役 高木 正一郎

社外取締役 井上 康知
社外取締役 石川 さと子
常勤監査役 石黒 一守
常勤監査役 石田 直行
社外監査役 小山 雅博
社外監査役 榎本 政彦

執行役員 (2026年7月1日以降の新体制)

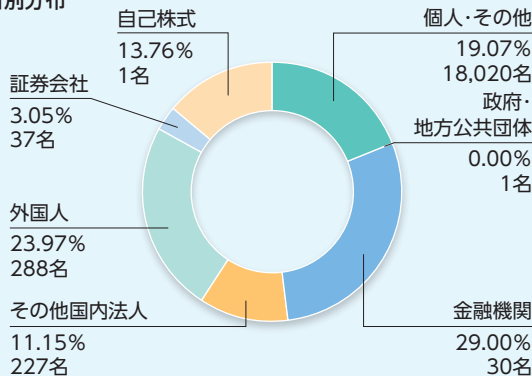
執行役員 原田 達広
執行役員 小川 勝
執行役員 小関 智之
執行役員 木村 恵三
執行役員 高谷 智宏
執行役員 中澤 信

※下線は女性取締役です。

株式の状況 (2026年3月31日現在)

発行可能株式総数 193,000,000株
発行済株式の総数 44,139,730株
株主数 18,604名

所有者別分布



◆「アナリストカバレッジ」ページ新設

2026年4月より、当社ウェブサイト「アナリストカバレッジ」ページを新設いたしました。当社を分析する証券会社およびアナリスト一覧をご覧いただけます。近年、当社のカバレッジは着実に拡大しており、当社の事業や成長性に対する関心を高めているものと受け止めております。皆様におきましても、情報収集の一助として、ぜひご活用ください。

詳細は当社ウェブサイトよりご確認ください。



https://www.kaken.co.jp/invest/stock/analyst_coverage.html

会社の概要 (2026年3月31日現在)

会社名 科研製薬株式会社
英文会社名 KAKEN PHARMACEUTICAL CO., LTD.
資本金 23,853百万円
設立 1948 (昭和23) 年3月1日
主要な事業内容 医薬品、医薬部外品、医療機器、動物用医薬品、農業薬品、飼料添加物の製造販売及び不動産の賃貸
従業員数 1,114名 (連結)
主要な事業所 本社 東京都文京区本駒込二丁目28番8号
新薬創生センター 京都府京都市、静岡県藤枝市
CMCセンター 静岡県藤枝市
工場 静岡県藤枝市
連結子会社 科研ファルマ株式会社
ARTham Therapeutics株式会社
KAKEN INVESTMENTS INC. (米国)
Aadi Bioscience, Inc. (米国)

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会・期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
(特別口座管理機関) 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
(電話照会先) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
フリーダイヤル 0120-782-031
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告方法 電子公告により当社ウェブサイト
(<https://www.kaken.co.jp/>) に掲載いたします。
なお、やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。